

快適マンション Toyo Green Board

東洋グリーンボード Vol.16

暑い日々が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。
夏バテしないように十分な食事、水分、睡眠をとって、
外気温との差を大きくする冷房のかけすぎには注意しましょう。
今号は、前号に引き続き、「エコ」がテーマ。
特に、暮らしに欠かせない家電を取り上げ、
少しでも消費電力を減らせるよう、省エネについて考えます。

特集

暮らしの中でできるエコを実践!

家電を見直して省エネライフに!

暮らしの知恵ポケット

アイロンがけを短時間でラクにすませる工夫

●平成20年4月1日より、建築基準法第12条に基づく
定期報告制度が変わりました

●2008年度 第2回管理員全体研修会の開催

インフォメーション

アンケートにご協力ください!

プレゼント! 「エコバッグ」を2名様に

2008年9月・10月更新予定のホームページ情報

快適空間マンションライフのベストパートナー

東洋グリーン建物株式会社

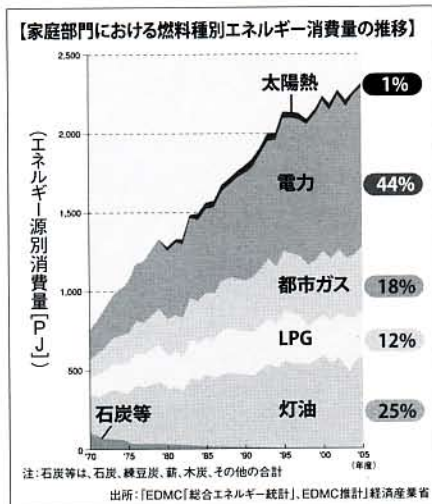
暮らしの中でできるエコを実践! 家電を見直して省エネライフに!



7月に北海道洞爺湖で開催されたサミットでも、環境問題が取り上げられたように、今、世界では、「エコ」への取り組みが急務となっています。この「エコ」は、地球レベルの大きな課題であると同時に、私たち一人ひとりが取り組むべき身近な課題でもあります。そこで今回、取り上げるのは、家庭で使っている電化製品の省エネ化。省エネ仕様の製品を選んだり、暮らしの中で電気のムダづかいをなくしたり…と、できることはいろいろあります。では、具体的に見ていくことにしましょう。

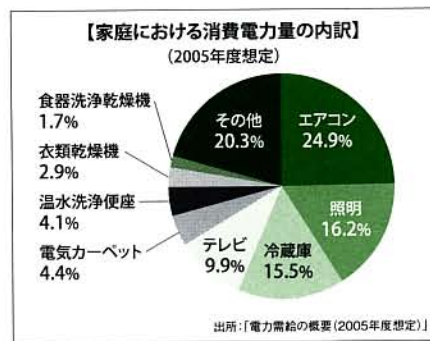
家庭で使うエネルギーで最も多いのは「電力」

家庭用のエネルギー消費量は1990年以降、年々増加傾向にあります。燃料別に見ると、特に大幅に増加しているのが電力。1990年から2005年の15年間で、5割近くも増えていて、2005年度では全体の44%を占めています。



家庭では電力を使う製品が数多くあり、暮らしに欠かせない存在となっています。中でも電力消費量の多いものが、エアコン、照明、冷蔵庫。この3製品で、半分以上の電力を使っています。その他、温水洗

浄便座、衣類乾燥機、食器乾燥機など、近年、急速に普及してきた製品もあり、今後さらに電力消費量が増加するかもしれません。



これからは、省エネタイプの製品を選ぶようにしたり、使い方を工夫してムダをなくすなど、省エネに結びつく意識と行動が必要になってきます。では、家庭で使っている主な電化製品について、製品の選び方や賢い使い方などをご紹介します。

エアコン

エアコンの省エネ性能は大幅に向上しており、1997年から2007年の10年間で約56%もアップしています。つまり、10年前の平均的なエアコンを、2007年の省エネ製品に替えると、エネルギー消費量も電気代も半分近くに削減できるということになります。

〈選び方のポイント〉

■ 省エネ製品を選ぶ

エネルギー消費効率を示す値(COPやAPFという数値)が大きいもの。また、省エネレベルの星の数が多いもの。

■ 建物構造、部屋の広さに適したもの

カタログなどの表記に「6〜9畳用」とあれば、木造住宅の6畳、鉄筋マンションの9畳が目安。

〈使い方の工夫〉

■ 冷房の設定温度は28℃に

冷房は28℃、暖房は20℃くらいに。

■ フィルターをこまめに掃除する

照明

照明用ランプを種類別生産高で見ると、白熱電球が約25%、直管形蛍光灯が約34%、環形蛍光灯が約16%、省エネ型の電球形蛍光灯は約3%となっています。

〈選び方のポイント〉

■ 省エネ製品を選ぶ

■ 電球形蛍光灯に替える

電球形蛍光灯は、白熱灯と同じ色みながら、消費電力が最大4/5削減できる。

■ インバーター方式の照明器具



家電を買うときには「省エネラベル」をチェック!

省エネ性能の高い家電製品を購入しようと思ったとき、目安となるのが「省エネラベル」。これは、「エネルギーの使用の合理化を促進する法律(省エネ法)」に基づいて、エネルギー効率に関する事項が表示されているラベルのことです。

省エネ性能は、1つ星から5つ星までの5段階で表示され、エネルギー消費効率や省エネ基準達成率(その製品が目標値をどれくらい達成しているか)などがひと目でわかるようになっています。

対象商品は、エアコン、テレビ、冷蔵庫、電子レンジなど16品目(2008年6月時点)。購入を検討するなら、省エネラベルを忘れずにチェックしましょう。



〈使い方の工夫〉

- こまめに消す
- 定期的に清掃する
- 調光やセンサーを使う

冷蔵庫

冷蔵庫も技術の進歩が著しく、約10年前のものより最新の製品を比べると、平均で、消費電力量が約36%減、年間の電気代が約1/3の節約になります。

〈選び方のポイント〉

- 省エネ製品を選ぶ

〈使い方の工夫〉

- 周囲に間隔をあけて設置
- 設定温度を「強」から「中」に
- 詰め込みすぎない
- 扉を長く開けない

洗濯機

乾燥機能、除菌・消臭機能などがついたり、大容量化している最近の洗濯機。洗濯乾燥機で洗濯から乾燥まで行くと、洗濯のみと比べて消費電力量は約20~30倍にもなります。

〈選び方のポイント〉

- 最適な洗濯容量かどうか
家族の人数や洗濯物の量に合った洗濯容量を選ぶ。
- 乾燥方式を確認
洗濯乾燥機の場合、乾燥方式によって使用水量が異なるので、節水できるものを選ぶ。
- 使用水量もチェック

〈使い方の工夫〉

- まとめて洗濯する
- 乾燥機よりも自然乾燥で
- 風呂の残り湯を活用
- フィルターをこまめに掃除する

待機電力

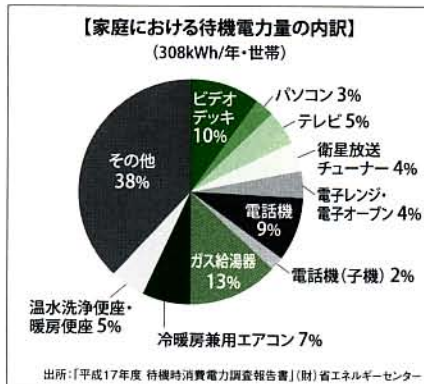
待機電力とは、電源をオフにしているときに消費している電力のこと。待機電力を消費する電化製品は、家庭内に多くあります。

〈選び方のポイント〉

- 省エネ製品を選ぶ
最近では、待機電力が小さい製品や自動的に待機電力を削減する製品もある。

〈使い方の工夫〉

- 省エネモードに
表示部消灯機能などの省エネモードがあれば活用する。
- 使うときのみ電源をオン
- 使わないときはプラグを抜く
- エコタップを活用
簡単に主電源をオフにできるエコタップを使う。電気代や消費電力がわかる表示機能つきのものもある。



(参考:環境省「省エネルギー家電ファクトシート」)

暮らしの知恵ポケット

■ アイロンがけを短時間でラクにすませる工夫

シャツやハンカチなど、洗濯した衣類等にアイロンかけることってありますよね。そのアイロンがけを、少しでもラクにする方法があります。特に暑いときは、熱いアイロンを扱う時間が短くできると助かるもの。ぜひ取り入れてみましょう。

- 洗濯物を詰め込まない
洗濯機にあまり詰め込まず、柔軟剤を使うようにしましょう。
- 脱水時間を短くする
一般の洗濯物なら、3分くらいで十分に脱水できます。シワになりやすい綿シャツは、1分ほどでもOK。また、ハンカチや綿シャツなどは、たたんだまま脱水するのも手です。
- 洗濯物を干すときにたたく
洗濯したものを干すときは、手のひらで軽くたたいてシワをのばすようにしましょう。乾いたときにシワが少なくなります。
- 余熱でかける
低温扱いのものやハンカチなどの小物は最後にまとめれば、アイロンを切ってから、余熱でかけることができます。
- ノンアイロンの布地のものにする
衣類等を買うときに、形状記憶などの素材を選びましょう。シワになりにくい布地なら、アイロンがけを大幅に短縮できます。

